

Ryunan Spirit

校長通信

R6.03.04

Vol.52

【三年生を送る会から感じたこと・・・】

確かな一歩が今始まる！！】

三年生を送る会、各学年が限られた時間の中で精一杯の準備をし、それぞれ工夫を凝らしたすばらしい発表を見せてくれました。発表を見て感じたことを言葉にすることはとても難しく、何だか私の思いがうまく伝わらないようで嫌なのですが、とにかく、どの学年の発表も、そこに込められたみんなの思いが伝わってきて、心から感動の連続でした。

生徒会役員の皆さんが制作してくださったオープニング映像から、会がスタートしまし

た。オリジナルのシナリオを考え、先生たちも登場させてもらって、とても楽しめる内容になっていたのでないでしょうか。私もほんの少しだけ登場させてもらいましたが、なかなか時間が合わずご迷惑をおかけしましたが、でも、とても楽しかったです。先生方の表情もとても印象的でした。

続いて一年生の発表でした。一番大切にしていたキーワードは、『感謝』だったのでないでしょうか。部活動での思い出、清掃や歌声、普段の生活の中でたくさんたくさん教えていただいたこと、それを振り返り、感謝の言葉を紡いでくれました。久しぶりに一年生の学年合唱を聴かせていただきました。四月から今までの中で、毎日先輩たちを目標に歌い続けてきたこと、一生懸命に取り組んでき

たことが、立派な成果として現れていました。かわいかった歌声が響きのある素敵な歌声に成長していたこと、びっくりしました。そして、空を飛ぶ蝶、海峡を渡る蝶の姿をイメージさせる、力強く羽ばたくような、素晴らしい合唱でした。『かがやくみらいへ』の言葉に、一年生全員の思いが集約されていましたね。

二年生は、様々な場面を通して三年生との思い出を振り返ってくれました。先輩たちと共に築き上げてきた数々のこと・・・。三年生の中ではないでしょうか。ダンス、応援、そして各クラスの合唱、短い時間で、よくここまで完成度を高められたと思います。合唱曲の一フレーズごとに、三年生から歓声が上がっていましたね。「たくさん思い出、苦労や努



力があつた」、各クラスへの感謝の言葉もとても素敵でした。『太陽のように輝いていた先輩、すべいての憧れです。』『先輩たちのように私もなる。』『何事にも全力で、協力しあつていた、学びを活かして手本になる。』・・・三年生への思いと自らへの誓い。その気持ちを、学年合唱【信じる】にぶつけてくれました。三年生から、「めっちゃよかった・・・」そんな声が上がっていました。「安心して南中を任せられる」きっと三年生は感じたと思います。



そして、全校応援団の引き継ぎ式となりました。高橋団長からは、全校応援団としての誇りとそのとても大切な役割、重さについての言葉がありました。一年間にかけてきた思いと全校応援団としてのやりがい、とても力強い言葉だったと思います。それを受けて、

斉藤新全校応援団長からは、「先輩を超えられるように頑張っていく」という強い決意の言葉が述べられました。新旧の全校応援団のみなさんが一つになった演舞は本当に見事でした。新たな伝統が加わりましたね。



そして最後に、三年生の発表がありました。全ての入試が終わってから、本当に短い時間しかない中で、一・二年生に対しての思いを、この発表にぶつけてくれました。卒業まで一週間となった今、いろいろな思い出が走馬灯のように思い出されているのではないのでしょうか。今まで、様々なことに全力で取り組み、南部中をリードしてきてくれた三年生のみなさん。そんな三年生から聞かれたのは、一・二年生たちへの感謝の言葉でした。発表の中で示してくれた、【アリガトウ】の文字、劇の中でも語ってくれた言葉の一言一言に、後輩たちへの心からのメッセージを感じる事ができました。

そして、合唱を聴かせてくれました。この仲間たちで歌えるのも、もう残りわずかにな

りました。歌っている姿からも、その全身から発せられている響きの美しさ、パワーも、さすが三年生だという、圧倒的な素晴らしさをもった合唱でした。『伝統を受け継ぎ、発展させてください』今まで全力で頑張ってきた三年生だからこそ、言えた言葉ではなかったでしょうか。

本当に素晴らしい三年生を送る会を創ってくれた生徒会の皆さんはもちろん、全ての南中の皆さんに感謝したいと思います。ありがとうございます。

いよいよ今週末は卒業証書授与式、三年生の出航の日です。残された時間、一日一日を、みなさん一人一人が大切に、最高に日となるよう準備していきましょう！！

